

# 緑内障とは

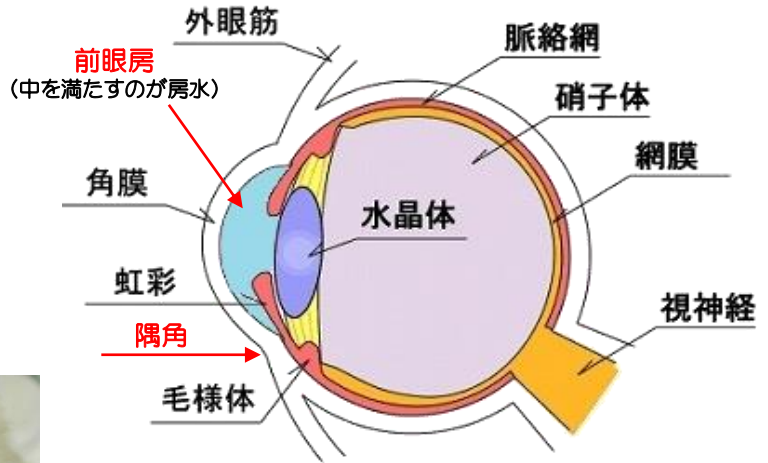
眼圧の上昇によって、網膜の視神経細胞の機能低下や死滅などが起こり、失明する眼疾患です。

目の中には、房水といって、水晶体前方(前眼房)を満たす透明な液体があります。

房水は毛様体で産生されており、産生と排出のバランスが常に保たれることで正常な眼圧を維持しています。何らかの原因で隅角が狭くなったり、詰まったりすることでバランスが崩れ、房水の量が眼球内で多くなると、眼圧が高くなります。

## 《症状》

- 白目が赤い
  - 目の白濁
  - 涙が多い
  - 目をシパシパさせている
  - 左右で目の大きさが違う(牛眼)
  - キチンと目を閉じられない
  - 圧迫による水晶体脱臼 等
- 緑内障は進行性の疾患で、発見が遅いと急速に失明することがあります。



← 緑内障による牛眼

## 《治療》

残念ながら、いずれ失明に至る疾患です。

治療の目的は、眼圧を低下させることで視神経の圧迫や失明に至るまでの時間を緩やかにすること、痛みを取ってあげることによって、快適な生活を送れる期間をつくることとなります。

### ◆ 点眼薬による治療

状況によって、複数の点眼薬を組み合わせで使用します。

- 眼房水の排泄を促すお薬
- 眼房水の産生を抑えるお薬
- 角膜表面の保護(ヒアルロン酸)
- 消炎剤
- 抗菌剤 等

### ◆ 外科手術

点眼薬を使用していても、眼圧や痛みのコントロールが困難な場合、眼球を摘出する必要があります。外貌が大きく変わるため抵抗も強いと思います。本人の痛みの状態やQOLを含めてよく検討しましょう。義眼挿入の技術を持つ眼科専門医への紹介も可能です。(義眼挿入後は乾性角結膜炎を起こしやすいので、点眼は継続して必要になります)

### ◆ 緊急時

急激に眼圧が上がってしまった場合、直ちに処置をしないと急速に視覚を消失してしまいます。

眼圧を下げるため、緊急時用の点眼を使ったり、マンニトール点滴を行ったりします。

それでも眼圧が下がらない場合は鎮静や麻酔薬を使ったり、眼房に細い針を刺して房水を抜く処置を行うこともあります。